

重度認知症老人介護手当診断書

老人氏名	性別	年齢	住所
	男・女	歳	

1 介護を要する原因についての精神医学的所見

(1)診断名					
(2)障害程度	知能面	1 一見して目立つ 2 確認しうる 3 あまり目立たぬ 4 確認されない			
	思考あるいは感情面	1 一見して目立つ 2 確認しうる 3 あまり目立たぬ 4 確認されない			
	行動上の問題性	1 重度 2 中等度 3 軽度 4 無し			
(3)症状の始期及び経過	1 いつとはなしに開始 2 ある時期を境として 3 ある時突然				
	現障害程度に達してからの年（月）数		約_____年_____月		

2 身体状況

(1)全般状況	1 いわゆる「ねたきり」に相当 2 ねたりおきたり 3 不自由が多 4 軽度の不自由又は無し
(2)受療中又は受療を要すると判断される診療科目	内科・外科・精神神経科・整形外科・脳外科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科 ・婦人科・歯科・その他（ ）

3 介護

(1)全般状況	1 つききり介護の必要あり 2 誰かか目を離さずにいる必要あり 3 誰かがそれとなく注意をはらっている必要あり 4 特に注意をはらう必要なし
(2)介護や対応を要する日常行動	洗面・入浴・着替え・食事・睡眠・排排便・火気使用・刃物使用・外出・交通事故・金銭支払 ・不潔行為・物品器物破損・乱暴・自傷・家出・家族内対人関係・その他の対人関係

4 意見

1. 上記の症状が6か月前から継続しており、介護面で重度の障害状態であると認められる。
2. 上記の症状から、現在介護面で重度の障害が継続しているとは認められない。

以上の症状であることを認めます。

令和 年 月 日

医師 住所

氏 名



診断書記入に当たってのお願い

1 診断書の目的

この診断書は、市が認知症老人の介護者に対して、重度認知症老人介護手当を支給するか否か判断するために使用します。

2 診断書の記入方法

この診断書は疾病の性質上、精神科を標ぼう又は専門とする医師が記入してください。記入は、各項目ごとに該当するものに○又は空欄に記入してください。

3 診断書記入上の視点

この診断書は、介護の困難性を明らかにする事を目的とするので、認知症の重圧度と介護の困難性が平行しない場合もあると思われますが、直接的には後者を手当支給の判断基準とします。なお、身体状況は、介護の困難性を増すものとして記入してください。

4 「ねたきり老人福祉手当」との併給不可

市では、重度認知症老人介護手当給付事業のほか、6 か月以上ねたきり状態の老人に対してねたきり老人福祉手当の支給を行っています。しかし、この福祉手当と重度認知症老人介護手当の併給は行いませんので、ご承知おきください。